

夏休みエコいえづくり体験ワークショップ

in 船坂 を開催しました！

住まいづくりニュース



第7号

平成26年7月26日(土) 旧船坂小学校体育館にて「夏休みエコいえづくり体験ワークショップ in 船坂」を開催し、暑い中合計82名の方にご参加いただきました。

当日は、平成24年度の市民ワークショップ「宮っ子エコいえワークショップ」の内容をまとめた「宮っ子エコいえBOOK」を基に、自然と共生した住まい「エコいえ」について学び、学んだことを生かしてエコいえの模型を作っていたいただいた後、温度計測の実験を行いました。また、船坂地区に残る茅葺屋根の古民家改修現場と草屋根のお店「珈琲ベルグ」の見学も行いました。

講師には、人・まち・住まい研究所の浅見雅之先生、一級建築士事務所「YURIDESIGN」の前田由利先生をお招きし、「エコいえ」に関するレクチャー、「エコいえ」の模型づくりのアドバイスをしていただきました。また、古民家改修現場見学の際には、古材問屋の明木哲生さんに古民家について解説していただきました。

1. 「エコいえについて学ぶ」

先生のお話(40分)



はじめに浅見先生から、暑さ・寒さをコントロールするポイントについてスライドや、ひさしのシミュレーション映像を使って分かりやすくお話いただきました。

エコいえの3つのポイント

- 窓から入ってくる太陽の光を、夏にはさえぎり冬には取り込むための工夫
木陰を利用する ひさしをつける 窓の外にすだれや緑のカーテンを設置する
- 屋根や壁から伝わる熱を抑える工夫
断熱性を高める ペアガラス(二重ガラス)にする
- 風や空気の入りを生かし、夏には涼しく冬には暖かく住まう工夫
敷地に吹く風を上手に制御

浅見先生



次に、前田先生から草屋根の豊かな暮らしについて、設計された実例の写真とともにお話いただきました。



前田先生

はじめに草屋根を手がけたのは自邸。屋根裏に子供部屋を設けることとなり、屋根からの熱を遮り快適に過ごせるようにと草屋根にすることに。夏でもエアコンは要りませんし、夏はスイカ、秋にはコスモス、と屋根の上の自然を四季折々楽しんでいきます。自然への配慮として屋根に原っぱを残す代わりに建物を建てさせてもらう、という思いで日々設計しています。



2. 「エコいえを作る」

工賃(100分)



先生のレクチャーを聞いた後はいざ実践！ということで模型キットを使い、皆さんのエコいえを作っていました。参加者のみなさんが持ってきた工夫材料に加え、先生方からも発泡スチロール、萱、すだれなどの提供があり、それぞれのエコいえに仕上げていただきました。



3. 「みんなのエコいえ工夫ポイント発表会」

発表(40分)



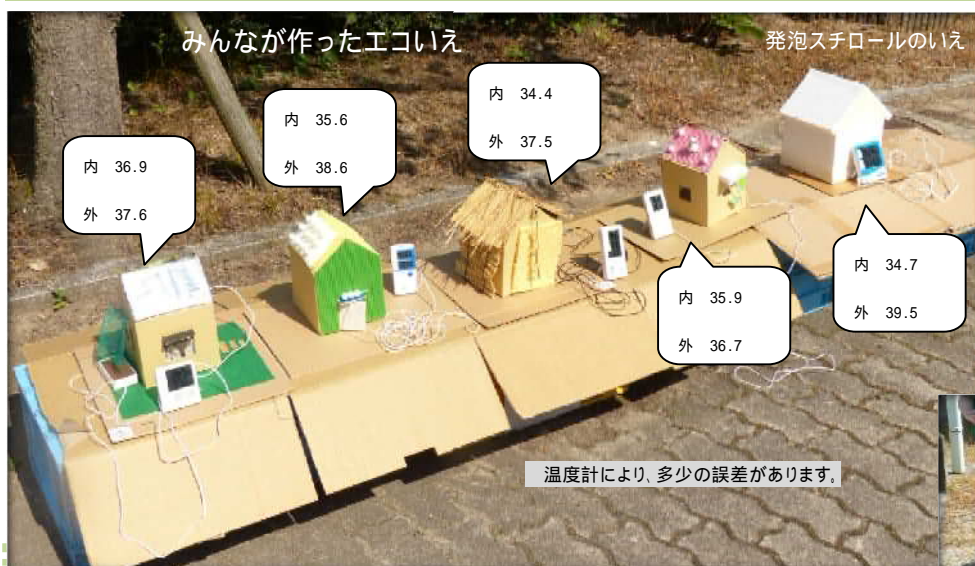
個性豊かな43軒のエコいえが出来上がり、それぞれの工夫ポイントや感想を各班から代表して1人ずつ発表してもらいました。

みんなの工夫した点

- 屋根を草屋根にして涼しい家になりました。
- 風の通りを考えてたくさん窓を開けました。
- ひさしをつけて太陽の光を遮りました。
- 緑のカーテンをつけました。
- 屋根を考えて工夫しました。



4. 「エコいえ模型の実験」



天然芝と鉄板を太陽光に当て、どれだけ温度が異なるのか表面温度計で測ったり、実際に触れることで体感してもらいました。



みんなが作ったエコいえ4軒と浅見先生が作った発泡スチロールのいえを屋外に設置し、温度を計測する実験を行いました。その結果、屋外と屋内で1～5の温度差があり、いずれも屋内の方が涼しいことが分かりました。

5. 「古民家&草屋根見学」

見学(60分)



最後のプログラムは古民家改修現場と草屋根のお店「珈琲ベルグ」の見学です。古民家改修現場では、改修に携わっている古材問屋の明木さんが「古民家材料は究極のエコである」というお話や、「古民家が涼しい理由」などについて楽しく説明してくださいました。



草屋根のお店「珈琲ベルグ」では設計者である前田先生が草屋根の仕組みについて説明してくださいました。

講師のプロフィール

浅見 雅之(あさみ まさゆき)

合同会社 人・まち・住まい研究所の代表社員。自然と共生した住まい(エコいえ)の観点で設計業務をする傍ら、摂南大学理工学部の講師やまちづくり専門家として多方面で活躍。「宮っ子のいえアドバイザー」として西宮市内でエコいえの出前講座にも対応。

前田 由利(まえだ ゆり)

一級建築士事務所「YURIDESIGN」代表。草屋根の建築家として数多くの自然と共生した住まい(エコいえ)を手がけている。また「住宅・環境・屋根緑化」をテーマにした講演・執筆活動など、多方面で活躍。「宮っ子のいえアドバイザー」として西宮市内でエコいえの出前講座にも対応。

旧船坂小学校について

明治6年に開校し平成22年3月末の閉校まで、137年の歴史を有する西宮市で最も古い小学校のひとつで、校舎の大部分が木造となっています。現在、地域の皆さんと市が協働して跡施設の活用について取り組んでいます。

「エコいえづくり体験ワークショップ in 船坂」関連イベントの紹介

宮っ子のいえアドバイザー派遣制度()を活用した 「エコいえづくり体験ワークショップ」が春風公民館で開催されました！

平成26年8月4日(月) 春風公民館にて『地球と人にやさしい「エコいえ」づくり体験ワークショップ～自然を生かして夏涼しい「エコいえ」を作ろう～』が春風地区青少年愛護協議会と春風エココミュニティ会議の共催で行われました。

当日は小学生22名が参加し、講師の「宮っ子のいえアドバイザー」である浅見先生から「エコいえ」のヒントとなるレクチャーを受けた後、工夫材料を用いてエコいえの模型作りに挑戦しました。



() みなさんの地域でもエコいえづくり体験ワークショップを行いたい場合は、
「宮っ子のいえアドバイザー」がお手伝いに伺います。
詳しくは市HP「宮っ子のいえアドバイザー派遣制度」をご覧ください！

今後もこのようなイベントを通じ、「エコいえ」について学ぶ場を提供していきたいと考えておりますので、引き続きすまいづくり推進業務へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。